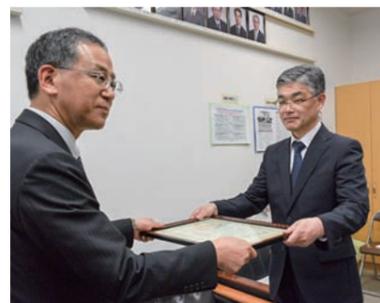


## 15日 厚南中が胆振管内教育実践表彰を受賞

厚南中学校(細野輝彦校長)が平成29年度胆振管内教育実践表彰を受け、同校で表彰授与式が行われました。

今回の表彰は文部科学省教育課程特例校として先進的な英語教育の推進に努め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成に成果を上げたことが認められました。

細野校長は「先生方が毎回試行錯誤しながら英語教育に取り組んだ成果だと思います。スタッフに恵まれたことに感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びを語っていました。



## 19日 とまこまい広域農業協同組合が 農業災害被災地に義援金

とまこまい広域農業協同組合(秋永徹代表理事組合長)が、全国の農業災害被災地への義援金15万6千円を日本赤十字社北海道支部厚真分区に寄付しました。

同農協は昨年11月から3カ月間に定期預金された総額の0.01%を義援金として寄付。役場に訪れた秋永組合長は「全国の被災地のために義援金を使ってほしい」と話していました。



## 29日 有限会社木本建設が 創業60周年を記念し600万円を寄付

有限会社木本建設(木本宏代表取締役)が町の子どもたちの育英のために町に600万円を寄付しました。

役場を訪れた木本代表取締役は「今年2月に創業60周年を迎えたため今回寄付しました。町の教育や子育てを少しでもお手伝いできれば」と話していました。寄付を受け取った宮坂町長は「これまで長い間、福祉分野への寄付や被災地への人材派遣などさまざまな分野にご協力いただき大変感謝しています。子どもたちの夢の実現のために使わせていただきます」とお礼を述べていました。



## 30日 住拓工業株式会社(苫小牧市)が 100万円を寄付

苫小牧市にある住拓工業株式会社の瀬尾光博代表取締役と瀬尾清取締役会長が役場を訪れ、町に100万円の寄付を行いました。

瀬尾取締役会長は厚真町出身で、苫小牧市在住の厚真町出身者で組織する「苫小牧厚真会」の会長を務めています。

瀬尾取締役会長は「ふるさと厚真があるからこそ、ここまで頑張ることができました。地域振興のために使ってほしい」と話していました。



## 3日 地域おこし協力隊成果報告会

町内で活動する地域おこし協力隊・地域おこし企業人の成果報告会が福祉センターで開催されました。8人の隊員は、それぞれの活動成果や今後の計画などについて発表し、会場に集まった町民と意見の交換を行いました。

農業支援員2年目の角地渉さん(36歳)は、「最後の1年は研修農場でホウレンソウやピメントの栽培を学び、同時に翌年の就農に向けて準備を進めていきたい。」と意気込みを語りました。



## 6日 苫小牧警察署と町民生委員児童委員協議会が 高齢者安全対策へ協定締結

苫小牧警察署と町民生委員児童委員協議会が、同署で「高齢者の安全対策に関する協定」を締結しました。

この協定は、同署と同協議会の相互協力により、高齢者が犯罪や事故のない安全で安心して暮らせる社会づくりに貢献することを目的としています。

この日は東胆振管内1市4町の民生委員協議会が調印式に出席しました。



## 10日 厚真産ハスカップの機能性は ハスカップフォーラム2018

ハスカップフォーラム2018(町厚真産ハスカップブランド化推進協議会主催)が総合福祉センターで開催され、町内外から約80人が参加しました。

基調講演では中村薬局(札幌市)の中村峰夫社長が厚真産ハスカップの機能性について話しました。中村さんは厚真産ハスカップには糖尿病、動脈硬化症の予防、急性胃腸炎をおこす腸管病原性大腸菌の増殖を抑える効果があると説明しました。

また、フォーラムでは同協議会からの活動報告やハスカップの未来を考えるワークショップも行われました。

